

北海道大学シラバス					
■ 科目名					
公衆衛生学					
■ 講義題目					
■ 責任教員（所属）					
玉腰 暁子（大学院医学研究院）					
■ 担当教員（所属）					
玉腰 暁子（大学院医学研究院） 木村 尚史（大学院医学研究院） 新井 明日奈（大学院医学研究院）					
■ 科目種別	医学科			■ 他学部履修等の可否	不可
■ 開講年度	2022	■ 期間	1 学期	■ 時間割番号	021006
■ 授業形態	講義	■ 単位数	2	■ 対象年次	3～3
■ 対象学科・クラス	医学科			■ 補足事項	
■ ナンバリングコード	MED 3200				
■ 大分類コード	■ 大分類名称				
MED	医学院・医学研究科・医学部医学科				
■ レベルコード	■ レベル				
3	学部専門科目（発展的な内容の科目）、全学教育科目（高年次対象科目）				
■ 中分類コード	■ 中分類名称				
2	社会医学				
■ 小分類コード	■ 小分類名称				
0	社会医学系科目群				
■ 言語					
日本語で行う授業					
■ 実務経験のある教員等による授業科目					
該当しない					

■ キーワード

公衆衛生学・予防医学・疫学・地域保健・母子保健・高齢者保健

■ 授業の目標

今日の公衆衛生学は、健康にとって有害な環境や、社会要因、ライフスタイルを取り除くことにより、人々の健康状態と生活の質（QOL）を向上させ疾病を予防することを大きな目標にしている。従って、広く人の健康にかかわる社会環境要因の役割と健康や

疾病関係について学ぶ。主として国、地域、学校など集団レベルで健康上の課題や現象を評価把握し、健康障害を予防し人々の健康増進のために必要な知識と考え方、方法論について学習する。保健医療政策や医療経済学についても学ぶ。

■ 到達目標

- 1.公衆衛生学の理念、日本と世界における歴史、現状と課題を理解できる。
- 2.公衆衛生学の基本的な研究方法である、疫学の特徴、調査研究の進め方、疫学研究論文の批判的な吟味ができる。人口統計および保健統計を理解する。
- 3.胎児期からの青壮年期、老化、死亡にいたる人の生涯の各時期における健康障害について理解し、疫病と障害の予防、および総合的な健康増進策について発表、討論ができる。さらに、健康障害の原因となる環境要因と予防対策を社会医学的に考え立案できる。
- 4.ライフスタイル変容とヘルスプロモーションの教育方法を健康増進のために社会環境因子、職域・地域で理解できる。
- 5.保健医療政策および医療経済の現状を理解し、問題解決の方向を提案できる。

■ 授業計画

- 1.公衆衛生学総論
- 2.高齢者保健
- 3.地域保健
- 4.母子保健・学校保健
- 5.精神保健・障害者福祉
- 6.医療行政
- 7.医療経済
- 8.疫学研究方法論
- 9.疫学演習
- 10.公衆衛生学演習

■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

小テストを期限内に提出する。Take home messageにつき理解を深める。

■ 成績評価の基準と方法

試験により評価する。期末試験は、公衆衛生学の基本的な知識を持っているか、記述が論理的に展開されているかを中心に評価し、公衆衛生学の講義に取り組む学習態度に併せて、到達目標の達成度を見極める。出席回数が3分の2に満たない場合は試験の受験資格はありません。

■ 有する実務経験と授業への活用

■ 他学部履修の条件

■ テキスト・教科書

N E W予防医学・公衆衛生学 / 岸玲子他編：南江堂

■ 講義指定図書

国民衛生の動向 / 厚生統計協会：厚生統計協会
医学がわかる疫学—第3版：新興医学出版社
Oxford Textbook of Public Health：Oxford Medical Publications

■ 参照ホームページ

■ ■ 研究室のホームページ

<http://publichealth.med.hokudai.ac.jp/>

■ ■ 備考

■ ■ 更新日時

2022/01/20 14:22:47

